

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年4月15日

事業所名 プロスペール

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		必要な備品だけを置くようにして、なるべく子供たちの間のスペースを空けるようにしています。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		現時点では、適切に配置を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	バリアフリー化してある	適切に配慮されています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	50%	50%		ミーティングでの振り返りを毎日行っています。月ごとの活動の見直し評価を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		毎年の評価表での評価をお願いしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		毎年の評価表を集計して、ホームページでの公開をしています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		第三者への外部評価は現在行っておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	50%	50%	コロナ禍のため、外部研修が積極的に参加できない	県社協の研修への参加を中心にしています。事業所内研修を行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	子供にわかりやすいように活動(個別活動)に行っている。	定期的に面談や連絡帳のやり取り、個別での電話のやり取り等で、お子様の課題やご家族の御希望をお聞きしています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		事業所のアセスメントシートでの評価を行っております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	50%	50%	専門的経験が少ないためチームでの取り組みが難しい。	活動プログラムは、月の課題活動に基づき担当者の立案をもとにチームで取り組んでおります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	利用児によって変えている	活動プログラムは、月ごとの課題により固定化されないようにしております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	時間ごとに活動を変えている時間で区切って、活動をしている。	活動プログラムは、月の課題活動に基づき担当者の立案をもとにチームで取り組んでおります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	70%	30%	事前に話し合いをおこなっている。	日常生活の自立活動を促しつつ、小グループでの活動の中でそれぞれの課題をもとに取り組んでおります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎日、ミーティングで全体周知している。一度、担当へ報告してからペアの職員と打ち合わせをしている。充実したコミュニケーションができていない	ミーティングで、当日の活動内容を共有しております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	次の日に、ミーティングで報告をしている。経験が少ないため振り返りの建設的意見が少ない。	ミーティングで、前日の活動内容の振り返りを共有しております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	記録は毎日行っているが、検証が十分にできていない。	ミーティングで、当日の活動内容を共有しております。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	2~3か月に1回保護者との面談を設けている	活動計画の評価として記録しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%		活動プログラムは、月の課題活動に基づき担当者の立案をもとにチームで取り組んでおります。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児発管が参加している。	経験のあるものが参画しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	担任との情報共有をしております。	経験のあるものが適切に対応しております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	0%	リハを必要として、通院している子供たちに対しては、専門職の方と連携を図っている。	身体的なケアの必要なお子様は、ご家族のご希望に沿って、連携をしております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	保育園等との情報共有に努めています。	就学に向けてのお子様の課題や取り組みについては、ご家族のご希望に沿って関係者等との連携を行っております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	0%		該当するお子様がいません
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	0%		現在は、対象のお子様はおりません。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	0%	並行利用しているお子さんがいる。	事業所として活動する予定は現在ありません
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	0%	日程の合わないため参加がまぢまぢになる。	事業所として活動する予定は現在ありません
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	ミーティングで報告しあっている。	定期的に面談や連絡帳のやり取り、個別での電話のやり取り等で、お子様の課題やご家族の御希望をお聞きしています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	100%		現在、ご家族への支援プログラムを実施してはおりません。ご希望をお聞きして判断したいと思います。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	児発管が行っている。	利用開始時に、ご説明させていただいております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	児発管が行っている。	定期的に面談や連絡帳のやり取り、個別での電話のやり取り等で、お子様の課題やご家族の御希望をお聞きしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	父母の会はない	保護者会の開催は、コロナ渦状況を考えながら 活動等を行いたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	すぐに報告がある	定期的に面談や連絡帳のやり取り、個別での電話のやり取り等で、お子様の課題やご家族の御希望をお聞きしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	50%	50%		定期的に至らないため 改善をしていきたい と思います。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	確認を細かく行っている。	保管等注意して取り組むことを共有しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		定期的に面談や連絡帳のやり取り、個別での電話のやり取り等で、お子様の課題やご家族の御希望をお聞きしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		事業所として活動する予定は現在ありません

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	50%	50%	職員間での周知してはありますが、ご家族には周知不足です。	毎月、定期的に勉強会、訓練等を行っております。今後の課題として、保護者様への情報提供をしてみたいと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	80%	20%	毎月シミュレーションしている	毎月、定期的に勉強会、訓練等を行っております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		虐待防止・権利擁護の事業所内研修を行っております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	50%	50%		定期的に関係や連絡帳のやり取り、個別での電話のやり取り等で、お子様の課題やご家族の御希望をお聞きしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	保護者を通じて連携を図っている。	定期的に関係や連絡帳のやり取り、個別での電話のやり取り等で、お子様の課題やご家族の御希望をお聞きしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	全体周知している	定期的に、事例検討会を実施して、対応共有を行っております。